

23 区初



就職氷河期世代の実態把握調査結果を公表

～約 4 割が家族介護に不安を抱え、
約 3 割が体調などに配慮した柔軟な働き方を希望～

区は、15 日（火）「就職氷河期世代の実態把握調査」の結果を公表した。

本調査は、生活に困窮する就職氷河期世代（概ね 40 歳代前半から 50 歳代前半の方）の生活実態や支援ニーズを把握し、自立に向けた支援を充実することを目的として実施した。

区内在住の就職氷河期世代のうち、無作為抽出した住民税非課税者 4,000 名へのアンケート調査に加え、生活サポートセンターなどの利用者と区内支援機関、広域支援機関へのヒアリング調査を行った。**本世代に対する大規模な実態把握調査は、23 区初の取組となる。**

調査の結果、回答者の約 4 割が家族介護に不安を抱え、約 3 割が体調等に配慮した柔軟な働き方を希望するなど、親の介護や不安定就労など複合的な課題を抱えていることが明らかとなった。

区は、結果を踏まえ、居場所・就労・家族介護の負担軽減に向けた支援の充実を目指す。

【調査概要】

1 アンケート調査

調査対象：練馬区在住の就職氷河期世代のうち住民税非課税者約 22,000 名から
無作為抽出した 4,000 名

調査方法：調査票を郵送にて配付し、郵送またはオンラインで回答を回収した。

調査期間：令和 8 年 5 月 12 日（火）～6 月 4 日（木）

回答状況：有効回答数：733 件（回収率 18.7%）

※無作為抽出した 4,000 名のうち、転居等により区に返戻された
72 名を除く 3,928 名に配付。

2 ヒアリング調査

調査対象：(1) 生活困窮者の相談窓口である練馬区社会福祉協議会の「生活サポートセンター」などの利用者 15 名

(2) 区内支援機関（4 機関）

- ・あすはステーション（長期間ひきこもり状態にある方などへの居場所支援）
- ・ねりま若者サポートステーション
- ・ねりま不登校・ひきこもり・発達障害地域家族会「灯火」
- ・光が丘障害者地域生活支援センターすてっぷ

(3) 広域支援機関（3 機関）

- ・ハローワーク池袋
- ・中高年企業団やまて企業組合
- ・特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

調査方法：対面によるヒアリング

【報告書の閲覧】

- ・区ホームページ

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/tokei/oshirase/shushokuhyougaki.html>



▲報告書掲載ページ

- ・区立図書館（南大泉図書館分室を除く）、区民情報ひろば
※10月1日（木）から閲覧できます。

【問合せ】

練馬区 福祉部 管理課 連携推進係

電話 03-5984-4539